



## 平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 加藤産業株式会社  
コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鷹尾 和彦

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	195,173	0.9	3,017	△5.1	3,338	△1.5	2,024	21.4
24年9月期第1四半期	193,498	3.5	3,178	4.4	3,388	4.5	1,666	△4.0

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 2,634百万円 (38.2%) 24年9月期第1四半期 1,905百万円 (△16.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	54.05	—
24年9月期第1四半期	44.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	269,520	81,068	29.7
24年9月期	243,299	79,299	32.2

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 80,009百万円 24年9月期 78,295百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	21.00	—	23.00	44.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年9月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	362,000	0.8	5,400	△5.2	5,920	△6.3	3,240	△7.4	86.51
通期	730,000	1.4	11,050	△0.3	12,000	△1.3	6,700	0.0	178.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	38,153,115 株	24年9月期	38,153,115 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	699,655 株	24年9月期	699,461 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	37,453,508 株	24年9月期1Q	37,454,115 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き下支えする中で、政府による金融・経済政策に対する期待感から円安及び株価上昇等、企業の収益環境の一部に明るさが見られるようになりました。また、海外の経済状況においては、欧州の経済不安及び中国経済の減速に底打ち感が見られました。しかし、国内の雇用情勢及び所得環境は改善の状況が見られず、景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましては、個人の消費マインドは個人所得の減少及び電気料金の値上げ、将来の消費税増税による負担増等、今後への不安から生活防衛意識が一段と高まり、内食化傾向が継続する中で企業間競争は一層激化し、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような状況下で当社グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え及び店舗の売り場づくり等、提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一層強化するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等による経営の効率化に努めました。また、平成24年10月には加藤S Cアジアインベストメント㈱を設立する等、海外での食品卸売事業の展開に向けた基盤の強化を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ0.9%増加し、951億73百万円となりました。利益につきましては、利益管理の徹底及び物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めたものの、営業利益は30億17百万円(前年同四半期比5.1%減)、経常利益は33億38百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。そして四半期純利益は20億24百万円(前年同四半期比21.4%増)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### <常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、小売業の業態を越えた企業間競争の影響が見られるものの、多様化する消費者の需要に対応すべく、提案型営業を積極的に推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化するとともに、自社P B商品の拡売を図りました。

その結果、売上高は1,579億6百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益は24億76百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。

#### <低温流通事業>

低温流通事業につきましては、消費者の生活防衛意識の高まりから低価格志向にある中で、小売業の業態を越えた企業間競争により厳しい状況で推移しましたが、家庭用チルド・冷凍及び惣菜関連商材を中心に、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化し、売上の拡大を図りました。

その結果、売上高は216億47百万円(前年同四半期比1.2%増)、セグメント利益は1億20百万円(前年同四半期比8.9%増)となりました。

#### <酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、若年層のアルコール離れなどに加えて消費者の生活防衛意識の高まりから低価格志向が一層強まりましたが、ビール類・ワイン・低アルコール飲料等を中心に消費者ニーズに対応した商品開発及び新しい飲み方の提案等により、飲用層の拡大につながりました。

このような中で、営業力の強化及び主要得意先との取り組み強化により、売上高は169億95百万円(前年同四半期比3.4%増)、セグメント利益は2億8百万円(前年同四半期比4.3%増)となりました。

#### <その他>

その他の事業につきましては、物流関連(配送、庫内作業請負等)がその主な事業内容であり、当社グループの売上が堅調に推移したことに伴う取扱量の増加等により、売上高は25億80百万円(前年同四半期比2.9%増)、セグメント利益は2億12百万円(前年同四半期比21.5%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ262億20百万円増加し2,695億20百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及びたな卸資産が増加したことから、246億38百万円増加し1,916億6百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の取得及び時価評価額の上昇等により、15億82百万円増加し779億13百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、246億40百万円増加し1,801億99百万円となり、固定負債は、主に退職給付引当金が減少したことから、1億87百万円減少し82億52百万円となりました。

純資産は、17億68百万円増加し810億68百万円となり、その結果、自己資本比率は29.7%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表しました業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産(建物を除く)について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,958	51,016
受取手形及び売掛金	98,463	113,032
有価証券	3,303	3,304
商品及び製品	12,672	19,041
仕掛品	4	11
原材料及び貯蔵品	808	866
繰延税金資産	773	349
その他	4,532	4,530
貸倒引当金	△548	△547
流動資産合計	166,967	191,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,887	14,733
機械装置及び運搬具（純額）	1,664	1,641
工具、器具及び備品（純額）	296	305
土地	24,704	24,495
リース資産（純額）	958	963
建設仮勘定	98	136
有形固定資産合計	42,609	42,276
無形固定資産		
ソフトウェア	3,767	3,778
電話加入権	35	35
その他	9	9
無形固定資産合計	3,812	3,822
投資その他の資産		
投資有価証券	22,191	24,213
長期貸付金	270	278
差入保証金	2,162	2,163
投資不動産（純額）	1,130	1,299
繰延税金資産	730	417
その他	3,504	3,527
貸倒引当金	△81	△85
投資その他の資産合計	29,909	31,814
固定資産合計	76,331	77,913
資産合計	243,299	269,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	143,390	168,919
短期借入金	174	159
リース債務	361	374
未払金	6,940	8,325
未払費用	197	117
未払法人税等	2,667	880
未払消費税等	311	46
賞与引当金	1,112	502
役員賞与引当金	77	16
資産除去債務	1	1
その他	324	856
流動負債合計	155,559	180,199
固定負債		
長期借入金	321	290
リース債務	620	615
繰延税金負債	24	33
退職給付引当金	5,667	5,553
役員退職慰労引当金	494	406
資産除去債務	126	126
その他	1,184	1,224
固定負債合計	8,439	8,252
負債合計	163,999	188,451
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	62,371	63,534
自己株式	△861	△861
株主資本合計	76,249	77,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,044	2,595
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益累計額合計	2,045	2,596
少数株主持分	1,004	1,058
純資産合計	79,299	81,068
負債純資産合計	243,299	269,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	193,498	195,173
売上原価	180,237	182,069
売上総利益	13,260	13,103
販売費及び一般管理費	10,082	10,085
営業利益	3,178	3,017
営業外収益		
受取利息	23	26
受取配当金	142	191
不動産賃貸料	91	86
持分法による投資利益	—	0
その他	66	80
営業外収益合計	324	386
営業外費用		
支払利息	3	2
不動産賃貸費用	66	59
持分法による投資損失	41	—
その他	3	2
営業外費用合計	114	65
経常利益	3,388	3,338
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	—	78
災害による損失戻入益	22	—
特別利益合計	22	79
特別損失		
固定資産除売却損	7	0
投資有価証券評価損	110	—
リース解約損	—	0
特別損失合計	117	0
税金等調整前四半期純利益	3,293	3,416
法人税、住民税及び事業税	964	854
法人税等調整額	620	488
法人税等合計	1,585	1,342
少数株主損益調整前四半期純利益	1,708	2,073
少数株主利益	41	49
四半期純利益	1,666	2,024



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,708	2,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	554
繰延ヘッジ損益	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	7	5
その他の包括利益合計	197	560
四半期包括利益	1,905	2,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,869	2,575
少数株主に係る四半期包括利益	36	58

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	154,599	21,328	16,353	192,282	1,216	193,498	—	193,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,463	61	84	2,609	1,292	3,902	△3,902	—
計	157,063	21,390	16,437	194,891	2,509	197,400	△3,902	193,498
セグメント利益	2,692	110	199	3,003	174	3,178	0	3,178

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	155,388	21,608	16,904	193,901	1,271	195,173	—	195,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,517	39	90	2,647	1,309	3,956	△3,956	—
計	157,906	21,647	16,995	196,549	2,580	199,130	△3,956	195,173
セグメント利益	2,476	120	208	2,805	212	3,018	△0	3,017

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。